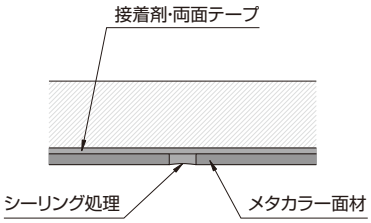
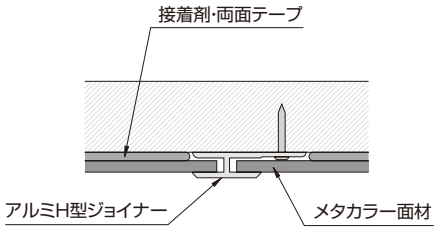
施工マニュアル　【面材シリーズ　SKW・AKWF・SKWFL・SKWF】

参考納まり例

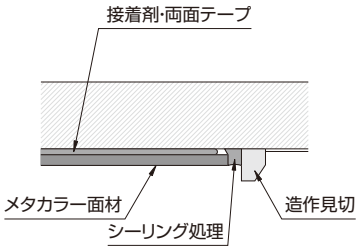
目透し貼り



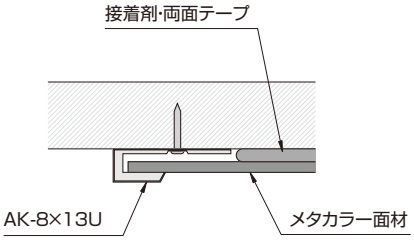
ジョイナー貼り



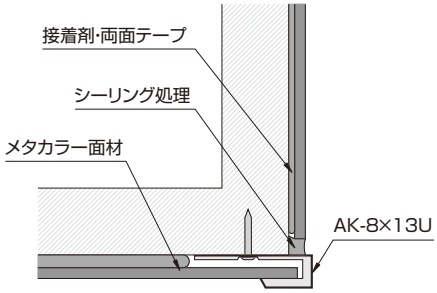
見切造作材貼り



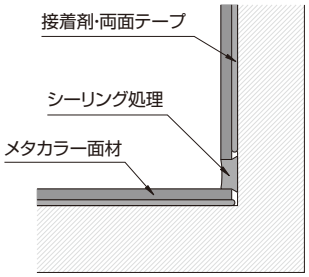
見切ジョイナー貼り



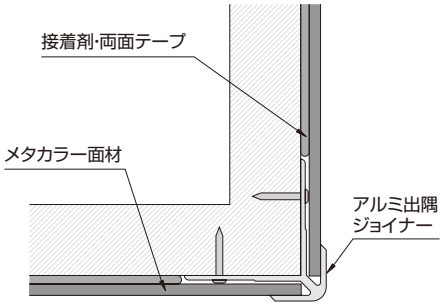
出隅ジョイナー貼り



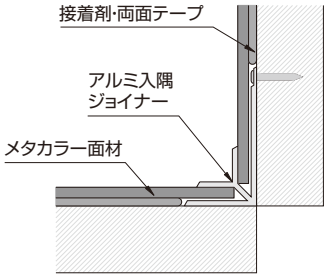
入隅



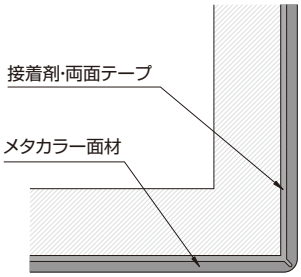
出隅ジョイナー貼り



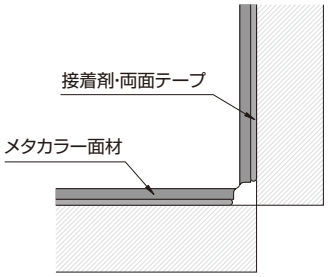
入隅ジョイナー貼り



出隅U溝曲げ



入隅U溝曲げ



施工マニュアル　【面材シリーズ　SKW･AKWF･SKWFL･SKWF】

取り扱い上の注意

●SKW･SKWFL･SKWFはステンレスと樹脂の複合材です。AKWFは塗装アルミと樹脂の複合材です。割れ難い材料ですが、衝撃や下地の状況によっては外観に歪みが発生する恐れがあります。運搬･保管および加工･施工時の取り扱いに充分ご注意ください。
●裏面にキズなどが入りますと、表面にも影響しますので、ご注意ください。
●AKWFは巾木としてのご使用は避けてください。
●温度による伸縮性がありますので突き合わせ施工は避けてください。
●表面保護フィルムは、必ず最後にはがしてください。また、表面保護フィルムは長時間屋外にさらされると経時変化により、糊残りなどが生じる可能性がありますので、ご注意ください。
●製品は片面仕様です。
●鏡面の製品は、実サンプルでの虚像性の確認をお勧めします。

施工上の注意

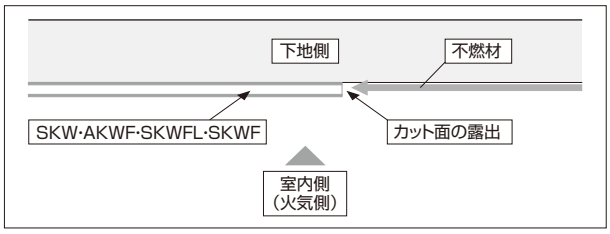
●SKWは［準不燃認定］、AKWF（ローグロス ブラック）･SKWFL･SKWFは［不燃認定］を取得し、内装制限のある部分に使用できるようになりました。AKWF（ハイグロス ブラック）は不燃認定取得申請中です。
●複合材という性質上、端面及び目地部分で防火性能［不燃、準不燃、難燃のこと（その壁面、天井面に要求される防火の性能）］を低下しないように注意する必要があります。防火目的が損なわれないように材料端部及び目地部の処理を適切に行ってください。

基本としては

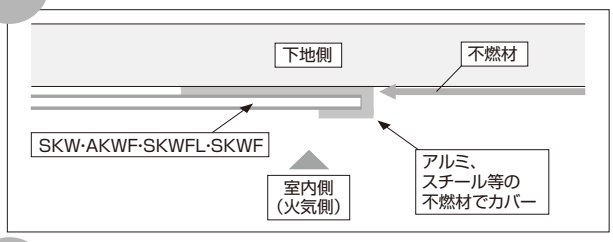
端面、目地部分 → その部分の下地を不燃材料（もしくは、目標とする防火性能の材料）にします。
不燃材料（もしくは、目標とする防火性能の材料）で覆います。

施工例　次に防火性能を不燃とした場合の施工例をあげましたので、参考にしてください。

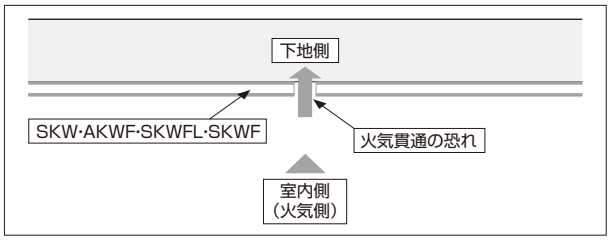
1 端面が火気側に露出してしまう場合。



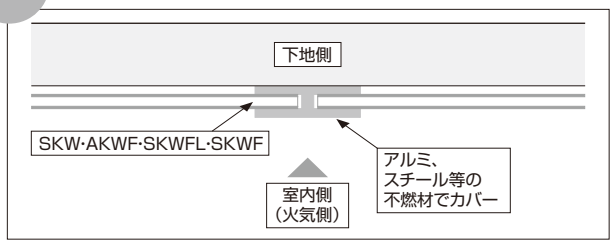
施工例　アルミ、スチール等の不燃材（または防火シリコーンを使用）で端部を隠してください。



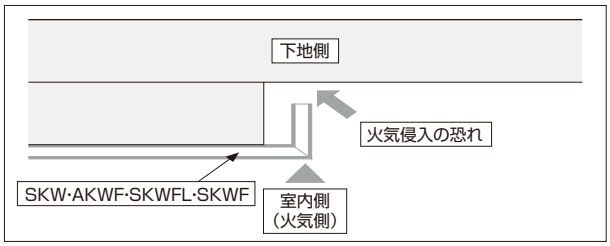
2 ジョイント部の隙間から火気が貫通してしまう恐れのある場合。



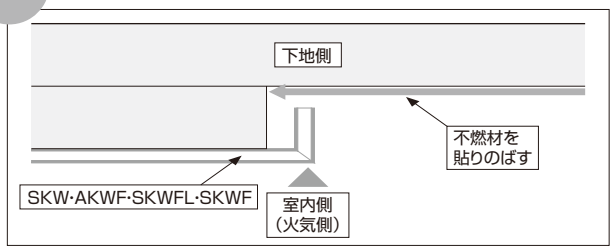
施工例　アルミ、スチール等の不燃材（または防火シリコーンを使用）で端部を隠してください。



3 端面は火気方向に向いていないが、隙間から火気が侵入してしまう恐れのある場合。



施工例　下地を不燃材とし、火気の侵入が予測できる部分まで、貼りのばしてください。



施工前にご確認ください。

下地のチェック

まずは下記の「設計･施工に関する下地のご注意」をよくお読みのうえ、施工可能な下地であることをご確認ください。そのままでは施工できない下地の場合、適切な処理を行なってから施工してください。また、下地材の選定と構造の作成は、建築基準法や火災予防条例などの法令･法規に適合したものであるか、ご確認ください。

施工･加工工具

施工方法	加　工	その他加工
	切　断	出隅･入隅
両面テープと接着剤を併用して取付け	シャーリング･電気マルノコ･電気ジグソー トリマー･ボール盤･ホールソー	SKW･AKWF･SKWFL･SKWF 工場加工【Vミジ加工はP38を参照】

施工マニュアル　【面材シリーズ　SKW･AKWF･SKWFL･SKWF】

取付下地別　推奨接着剤

	プラスターボード※1	塩ビ壁紙※2	化粧合板※3	木･ハードボード モルタル･コンクリート
外観：鏡面仕上げ製品 光沢仕上げ製品	セメダイン(株)製 ●セメダインPM165-R(X) ●セメダインPOSシール 積水フーラー(株)製 ●セキスイボンド#72-A ●セキスイ変成シリコーンHM-NEW +両面テープ※4	セメダイン(株)製 ●セメダインPM165-R(X) コニシ(株)製 ●コニシボンドMPX-1 積水フーラー(株)製 ●セキスイボンド#72-A ●セキスイ変成シリコーンHM-NEW +両面テープ※4	セメダイン(株)製 ●セメダインPM165-R(X) ●セメダインPOSシール 積水フーラー(株)製 ●セキスイボンド#72-A ●セキスイ変成シリコーンHM-NEW +両面テープ※4	セメダイン(株)製 ●セメダインPM165-R(X) コニシ(株)製 ●コニシボンドMPX-1 積水フーラー(株)製 ●セキスイボンド#72-A ●セキスイ変成シリコーンHM-NEW +両面テープ※4
外観：HL仕上げ製品	セメダイン(株)製 ●セメダインPM165-R(X) ●セメダインPOSシール コニシ(株)製 ●コニシボンドMPX-1 ●コニシボンドエフレックス 積水フーラー(株)製 ●セキスイボンド#72-A ●セキスイ変成シリコーンHM-NEW +両面テープ※4	セメダイン(株)製 ●セメダインPM165-R(X) コニシ(株)製 ●コニシボンドMPX-1 積水フーラー(株)製 ●セキスイボンド#72-A ●セキスイ変成シリコーンHM-NEW +両面テープ※4	セメダイン(株)製 ●セメダインPM165-R(X) ●セメダインPOSシール コニシ(株)製 ●コニシボンドMPX-1 ●コニシボンドエフレックス 積水フーラー(株)製 ●セキスイボンド#72-A ●セキスイ変成シリコーンHM-NEW +両面テープ※4	セメダイン(株)製 ●セメダインPM165-R(X) コニシ(株)製 ●コニシボンドMPX-1 積水フーラー(株)製 ●セキスイボンド#72-A ●セキスイ変成シリコーンHM-NEW +両面テープ※4

※1 上記の変成シリコーン系接着剤と両面テープを併用してください。
※2 エンボス仕上げの壁紙は接着施工できません。
※3 化粧合板の仕上げによっては接着強さが足りない場合があります。事前に化粧合板メーカーにお問い合わせください。
※4 推奨両面テープはコニシTMテープ W1-20、コニシボンド WF102、セメダインボードテープ310、
セキスイダブルタックテープ#532S［積水化学工業(株)製］です。
※5 接着剤の塗布量は、m^2あたり約300mlが目安です。接着剤により異なりますので詳しくは各接着剤メーカーにお問い合わせください。

設計･施工に関する下地のご注意

下地を新設する場合

施工可能な下地の例

●プラスターボード(推奨9.5mm以上)
●ケイカル板(推奨6mm以上･比重0.8以上)(注)
●モルタル面(推奨 含水率4.5%以下･密着強度1.0N/mm^2以上･不陸2mm以下)
●合板(推奨9mm以上)

※上記の下地でも、化粧材の施工部分に塗装などの仕上げが施されると、
接着不良によるハガレが発生する可能性がありますので、ご注意ください。
※下地材の選定と構造が、建築基準法や火災予防条例などの法令･法規に
適合したものであるか、ご確認ください。

そのままでは施工できない下地の例【→は対応事例】

●RC壁への直貼り【→モルタル仕上げ】
●ALC躯体への直貼り【→GL工法及び鋼製壁作成】
●湿気を帯びた下地【→充分乾燥させます】

そのままでは施工できない環境【→は対応事例】

●施工場気温が5℃以下【→気温を5℃以上に上げてください】
●施工場の湿度が90%以上【→湿度を90%以下に下げてください】
●結露が予想される時【→結露しないように対策を取ってください】

躯体への下地材固定方法

鋼製壁

下地材(プラスターボード等)を専用ビスで300mmピッチで
固定してください。
※枠廻り･出隅･入隅部分の下地材端部は専用ビスで確実に固定してください。

RC壁(モルタル仕上げの場合)

モルタルはRC壁に対して接着が良いものを選定し、
不陸がないように仕上げてください。
※モルタルの含水率が4.5%以下になってから施工してください。
(密着強度1.0N/mm^2以上)

RC壁(木胴縁の場合)

24mm×45mm程度の縦胴縁を300mm･
横胴縁を450mmピッチで躯体にアンカー･カール･釘で固定し、
下地材(プラスターボード等)を専用ビス(300mmピッチ)と
接着剤を併用して固定してください。

既存下地に施工する場合

施工可能な下地の例

●タイル面(浮き･ハガレがなく不陸が10mm以下の場合に限ります。)
●モルタル面(含水率4.5%以下･密着強度1.0N/mm^2以上)

そのままでは施工できない下地の例【→は対応事例】

●塗 装 面【→塗装の除去、もしくは
施工可能な下地材を上貼りします。
(ビス固定等)】
●クロス面【→クロスの除去、もしくは
施工可能な下地材を上貼りします。
(ビス固定等)】
●化 粧 面【→化粧部分の除去、もしくは(突板･シート･樹脂等)
施工可能な下地材を上貼りします。(ビス固定等)】

下地状態のチェック･対応方法

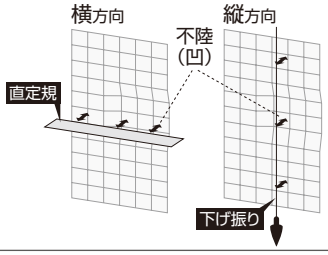
表面の汚れ

表面の汚れは充分に除去してください。

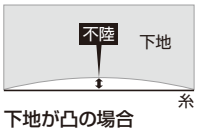
表面の不陸

下図のように直定規･下げ振り･
レーザーレベル等を用いて壁面の
水平･垂直の不陸を測定してください。
※現下地で施工可能な最大不陸は10mmです。
10mmを超える場合は、下地を作成してください。

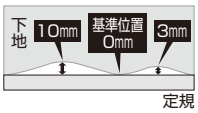
**10mm以下でも、下地の表面が平滑でない場合は
メタカラー面材の外観に影響が出ることがあります。**



下地が凹の場合
糸を張り、隙間を測定。



下地が凸の場合
水平な定規をあてがい、
隙間を測定。



(注)取付下地がフレキシブル板やケイカル板などの繊維強化セメント板の場合は鏡面･光沢仕上げ製品に適しません。

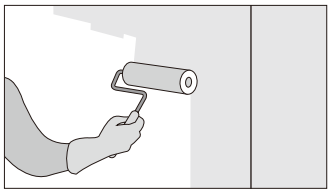
施工マニュアル　【面材シリーズ　SKW･AKWF･SKWFL･SKWF】

Webサイトで施工動画マニュアルをご覧いただけます。　https://www.metacolor.jp/movie/index.html

施工手順

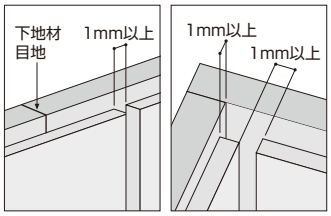
●下地及び面材に付着したほこりなどの汚れを取り除いてください。※下地が悪い場合はプライマー（シーラー）処理が必要です。
（注）取付下地がフレキシブル板やケイカル板などの繊維強化セメント板の場合は鏡面･光沢仕上げ製品に適しません。

❶ 下地処理（プライマー処理）



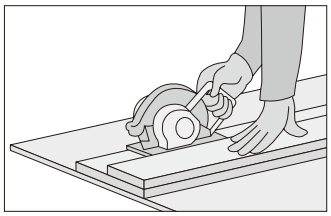
●下地材がモルタル面･フレキシブル板･ケイカル板の場合、全面にあらかじめプライマーを塗布してください。
■標準塗布量:3×6サイズで3～4枚分/kg

❷ 割付け



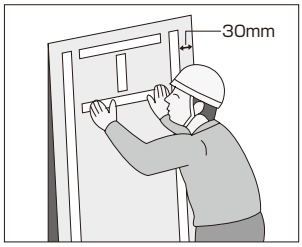
●下地材の目地と仕上げ材の目地が重ならないように、割付けてください。
●突きつけ施工はできません。必ず1mm以上の目地を取ってください。
●ジョイナーで施工する場合にも、必ずクリアランスを取ってください。

❸ 切断加工

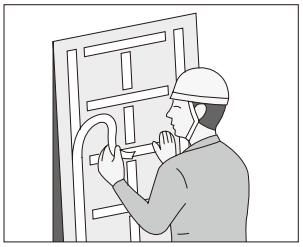


●切断は当木を用いて、必ず刃物を裏面から入れてください。（表面に保護フィルムが貼ってあります。）
●穴あけ･切り欠きは必ず6R（φ12）以上の刃物を用いて、表面からコーナー部に穴をあけてから行ってください。
●現場加工後はバリを処理してください。

❹ 仮止めテープ貼付け

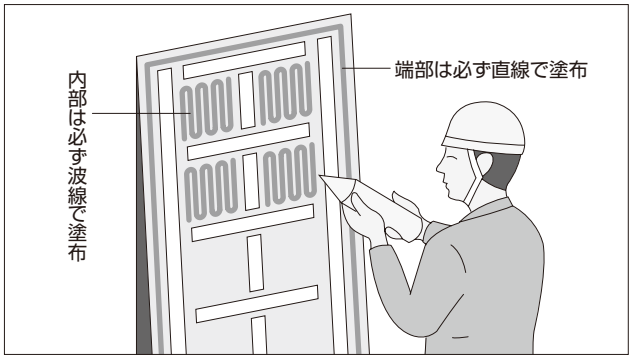


●仕上げ材の端部に接着剤を塗布するためのスペース30mmをあけて、仮止めの両面テープを貼り付けてください。



●両面テープの離型紙を剥がしてください。

❺ 接着剤塗布

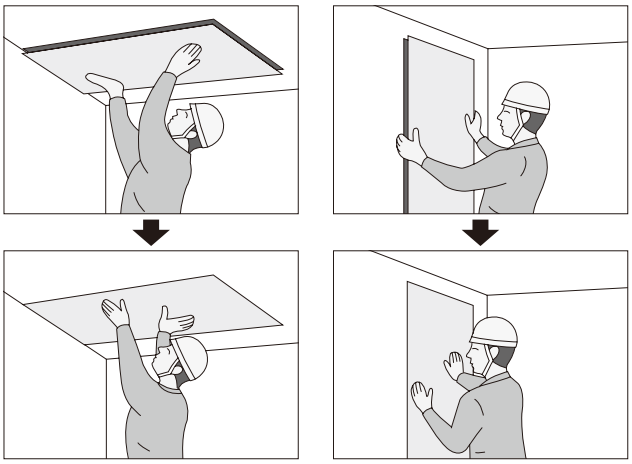


●面材に接着剤（変成シリコーン系）を塗布してください。
【推奨接着剤はP36を参照】
接着剤の塗布量は、m²あたり約300mlが目安です。接着剤により異なりますので詳しくは各接着剤メーカーにお問い合わせください。

※施工方法は一例であり、工法自体の保証をするものではありません。

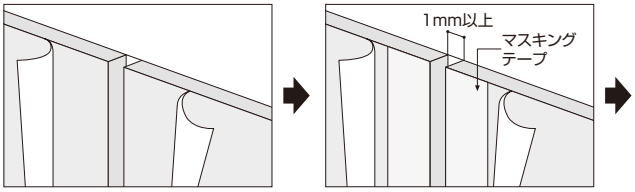
❻ 貼付け

（天井の場合）　（壁面の場合）



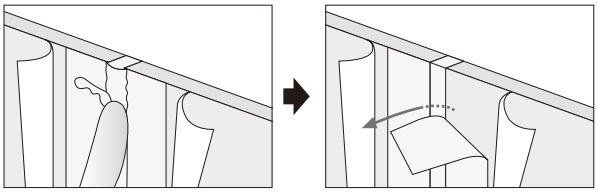
●中央部に浮きが発生しないように注意して、仕上げ材を貼り付けてください。
●仮止めテープ部をしっかりと押さえてください。
※接着剤部を押さえると泣き別れて表面がヒケる恐れがあります。

❼ シーリング処理



マスキングテープを貼り付ける部分のみ、表面の保護フィルムを剥がしておきます。

マスキングテープを貼り付け、奥までしっかりとシーリング材を注入します。



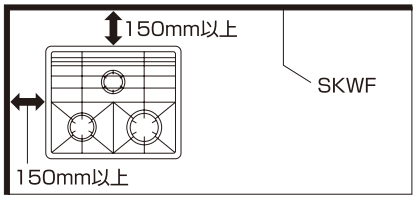
ヘラなどを用いて、余分なシーリング材をかき取ります。

マスキングテープをゆっくりとシーリング処理側に剥がします。

❽ キッチンでのご使用について
（適用製品 SKWF 不燃）

コンロまわりでのご注意

必ずコンロから150mm以上離してください。



据え置きタイプのコンロ、ビルトインコンロの場合で側面･背面の距離が150mm離せない場合は、ステンレスパネルをご使用ください。

❾ 保護フィルム剥がし

●1日間以上養生後、表面の保護フィルムを剥がしてください。
※表面保護フィルムは長時間屋外にさらされると経時変化により、糊残りなどが生じる可能性がありますので、ご注意ください。
※表面保護フィルムを剥がすときは一連の流れで止まらずに剥がすようにしてください。止まってしまうと糊跡の要因になることがありますので、ご注意ください。